

第 113 回 グループホーム忘れな草 運営推進会議記録

実 施 日 時		令和7年3月27日（木） 午前10時30分					
場 所		ケアハウスえんれい草					
出 席 者		町内会役員代表：山中様 地 域 住 民 代 表：松田様、久保様 利 用 者 代 表： 利用者家族代表：川合様（忘れな草）、浅川様(えんれい草) 市 職 員 代 表：佐伯様 えんれい草職員：川副様、小笠原様 忘 れ な 草 職 員：徳廣、家納					
前回からの継続課題		☐ ・ 有					
活 							

		階	発生日時	事故内容
事故発生 (11 件) ヒヤリハット 含む	2 階	2/1 (土) 13 : 40 分頃 89 歳、男性 要介護 1	入浴の為に脱衣所で服を脱ぐ際、職員が目を離したところで入居者様が立ち上がり、バランスを崩し転倒される。身体確認したところ背中に痛み訴えられるが、腫れ・熱感は見られなかった。血圧 131/105mmhg、体温 36.6℃、脈拍 79 回、SP02 98%。弟様へ電話にて転倒した事を伝え、謝罪する。入浴介助中は可能な限り目を離さないよう努めます。	
	2 階	2/2 (日) 9:30 分頃 89 歳、男性 要介護 1	トイレにて排泄介助時、入居者様が手摺りに掴まり立ち上がろうとしたところでバランスを崩し、職員が支えようとしたが間に合わず、壁に背中をついた状態でずり下がるように床に尻もちをつく。身体確認したが、痛み・変色等なかった。血圧 140/91mmhg、体温 36.5℃、脈拍 78 回。管理者に報告し、経過観察行う。弟様へ電話にて転倒の事を伝え、謝罪する。立ち上がりの際は本人に声掛けし、ふらつきが見られるときは介助を行い、転倒予防に努めます。	
	1 階	2/10 (月) 18:00 頃 89 歳、女性 要介護 5	夕食後、食卓の椅子からソファへ移る際にバランスを崩し転倒される。職員の介助でソファに座ってもらい身体確認を行う。血圧 131/90mmhg、体温 36.6℃、脈拍 81 回。歩行の様子は普段と変わらず、痛み等もなかった。18:20、次女様へ電話にて転倒の事を伝え、謝罪する。ご本人の行動を観察し、移動時は可能な限り見守りを行い、転倒予防に努めます。	
	2 階	2/25 (火) 7:20 頃 87 歳、女性 要介護 2	昼食後、夕食後の薬を準備する時に夕食後薬がないことに気づき、今朝服用するはずの薬が残っており、ゴミ箱から夕食後薬の空き袋が見つかり、朝食後に夕食後薬を服用したことに気づく。管理者に報告し、経過観察行う。長男様へ電話にて状況を伝え、謝罪する。今後、薬準備時の日付・名前等の確認と服用時の再確認を徹底し、誤薬を防ぐよう努めます。	
	1 階	3/10 (月) 13:45 頃 85 歳、女性 要介護 3	入浴後の着替えの際、入居者様に手摺りに掴まって立ち上がってもらおうとしたところ、右の壁側にやや体をひねり気味に倒れていき、左側に職員いたが防げず、後頭部を壁にぶつけて転倒。物音に気付いた数人の職員が駆け付け、入居者様を抱えて車椅子に移乗してもらう。身体確認行ったところ頭部等に変色・痛み訴えなかったが、頭部クーリング行う。血圧 141/82mmhg、体温 36.2℃、脈拍 79 回。認知症の症状の進行が見られ、職員の話が理解できないことが増えていた為、入浴時の着替え等は複数人で行うようにし、転倒予防に努めます。長女様は海外に住んでおり、メールにて状況を伝え謝罪いたしました。	

		3 階	3/6 (木) 12:00 頃 76 歳、女性 要介護 1	毎日昼に張り替えるジクトルテープの当日分を準備しようとした際、スタッフコーナーで保管している薬箱の中から前日の 3/5 分を見つけ、前日以前の張り替え忘れに気づく。いつ時点の張り替え忘れかは不明。管理者に報告し、当日分のテープを貼付する。テープの効能は痛み止めだったが、本人からの痛みの訴えはなく様子観察行う。その後、特変なく経過される。ご本人と妹様に状況を説明し謝罪する。今後、入居者様の薬の内容を職員全員が把握するようにし、テープの準備と貼付の際の日付の確認を徹底し、再発防止に努めます。
		1 階	3/11 (火) 5:55 頃 89 歳、女性 要介護 1	夜勤者が居室にバスタオルを持って行くと、ご本人から「椅子に座ろうとしたらバランス崩して左肘ついて尻もちをついた」と言われる。身体確認行ったが、左肘・臀部ともに変色・腫れ等は見られなかった。血圧 116/83mmhg、体温 35.6℃、脈拍 75 回。管理者へ報告し、経過観察行う。弟様へ電話にて状況を伝え謝罪する。歩行・着替え等を自分で行える方でも職員が時々部屋の様子を見るようにし、声掛けを行い転倒予防に努めます。
		1 階	3/13 (木) 7:30 頃 89 歳、女性 要介護 5	朝食後の口腔ケアの為、職員手引き歩行にて洗面所へ移動したが、職員がコップを取る為に手を離れたところ、入居者様がふらつき壁に頭をぶつけ、ずるずると床に尻もちをつかれる。転倒後バイタル測定、血圧 134/85mmhg、体温 36.1℃、脈拍 104 回。バイタル測定後、痙攣のような症状と目の焦点もあっていないようで、管理者に連絡するが連絡つかず。直後に管理者が出勤し、病院受診の指示を受けご家族に連絡する。次女様の対応にて深川市立病院脳外科外来受診され、脳 CT 検査受けるも異常なく帰所される。翌日みきた整形外科クリニックも受診し、レントゲン検査を受ける。レントゲン上では確認できないが、左脇に細かいひびが入っているかもしれないと診断を受ける。湿布と痛み止めで様子観察の指示を受ける。今後、手引き歩行で移動した際には、手を離す前に必ず手すりに掴まってもらい、目を離すことのないようスタッフ間で声を掛け合いながら見守り対応いたします。
		2 階	3/21 (金) 12:00 頃 87 歳、女性 要介護 2	夕食後薬を準備する際に当日の夕食後の薬がなく、朝食後の薬が残っていた為ゴミ箱を確認したところ、夕食後薬の空き袋が入っており、朝食後に夕食後の薬を服用したことに気づく。管理者に報告し、バイタル測定する。血圧 113/69mmhg、体温 36.5℃。その日の日中の様子観察を強化する。15:00 長男様へ電話にて誤薬について説明し謝罪する。日頃から薬を準備する時には複数の職員で確認する決まりになっているが、見落してしまった。服薬準備する時には、1 人 1 人が責任を持って必ず名前・日付・用法を確認し、再発防止に努めます。

		3 階	3/13（木） 11:30 頃 81 歳、女性 要介護 2	夕食後薬を用意する際、当日服用の 2 週間に 1 度起床時の内服確認のチェックがなかった為確認したところ、当日の起床時薬が残っており服用忘れに気づく。管理者に報告し、体調確認・様子観察行う。起床時薬は翌日に服用してもらう。その後、特変なく経過される。長女様へ電話にて服薬忘れの事を説明する。職員が入居者様の薬の内容を把握しきれていなかった為、2 週間に 1 度の起床時薬を見落してしまった。また、内服薬を取り出す際の確認不足、服用までの職員の確実な確認作業が出来ていなかった。職員 1 人 1 人が入居者の薬の内容を把握するよう努め、日付・用法・名前等を確認するチェック体制、「間違いがあるかもしれない」という心構えを徹底し、再発防止に努めます。
		2 階	3/21（金） 16:50 83 歳、女性 要介護 2	自分で歩いてトイレに行き、戻ってきた際に居間のソファに座ろうとしたところ、転倒し床に顔をぶつけてしまう。ご本人「足がもつれた」と話される。身体確認行ったところ変色はなかったが、ご本人から顔が痛いと言われる。顔以外の変色・痛みはなかった。ソファに座ってもらいバイタル測定。血圧 144/77mmhg、体温 36.3℃、脈拍 91 回。17:05 次女様へ電話にて転倒の事を伝える。職員は他者の介助中であつたが、スタッフ間での声掛けを徹底することで見守りを強化し、転倒再発防止に努めます。
	その他	・ 3 月 2 4 日 13 : 30 より夜間想定避難訓練実施 ・ 職員の異動 3 月 3 1 日付 管理者 徳廣 妙依 退職 4 月 1 日付 管理者 吉村 大祐 就任 えんれい草・福寿草管理者兼務 4 月 1 日付 3 階介護職員 中川 雄斗 深川第一病院へ異動		
	次回開催予定	令和 7 年 5 月 22 日(木) 10 時 30 分 場所：えんれい草 2 階相談室		
助 言 ・ 要 望	【質問・要望など】 とくにありません。			
他	次会議までの 継続課題	無 ・ 有		